

4 - 16 白浜菱形基線測量結果

Results of Resurvey in Shirahama Rhombus Base Lines

国土地理院地殻調査部
Crustal Dynamics Division, Geographical Survey Institute.

1976年3月、白浜菱形基線の改測が実施された。この菱形基線の旧測定は、それぞれ1969年、1970年に実施された。その結果は第1表に示す。

第2図には、白浜菱形基線の位置と1970年 - 1976年間の歪変化を示す。ふたつの主歪ともに伸びであり、面積変化は $+6.1 \times 10^{-6}$ に達するが、最大せん断歪は 0.8×10^{-6} にすぎない。

1944年の東南海地震・1946年の南海地震のあと、現在西南日本には広域的な地殻隆起がみとめられる¹⁾²⁾。それで紀伊半島がふくらむような地殻変動をしているため、白浜菱形基線での面積歪が膨張として検出されたのであろう。

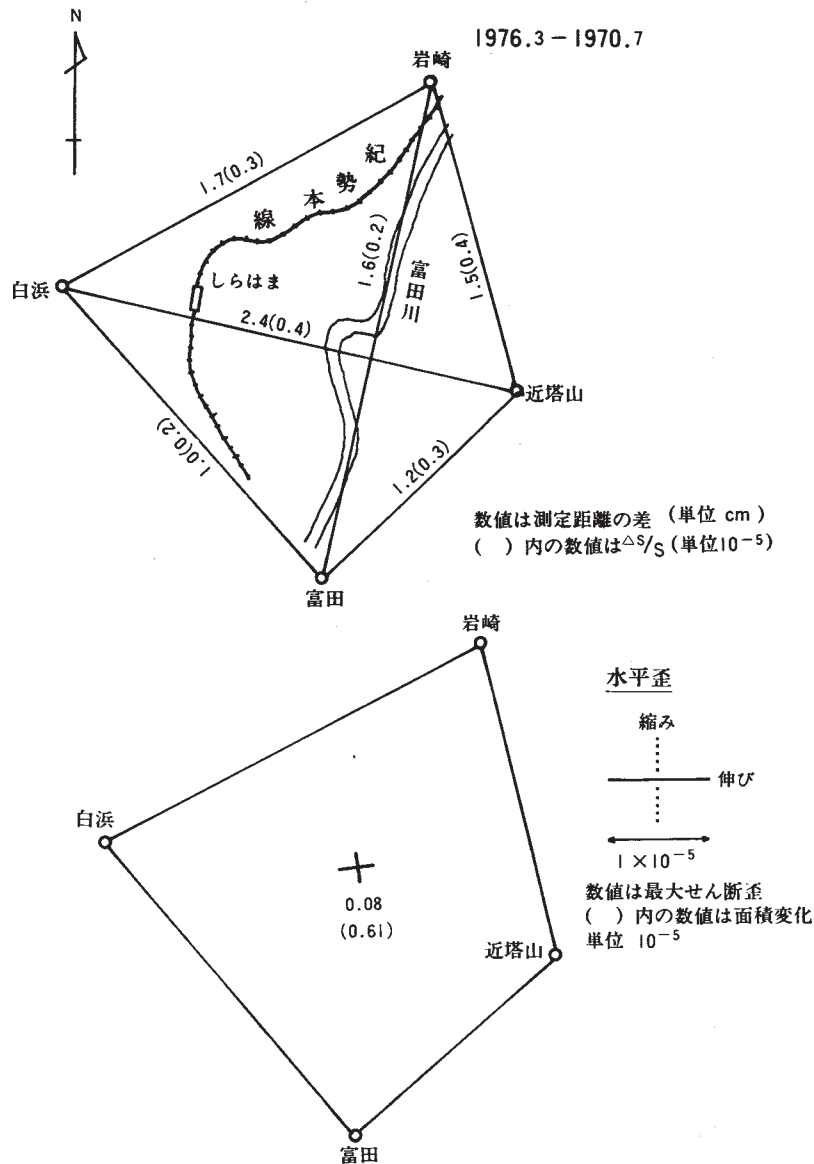
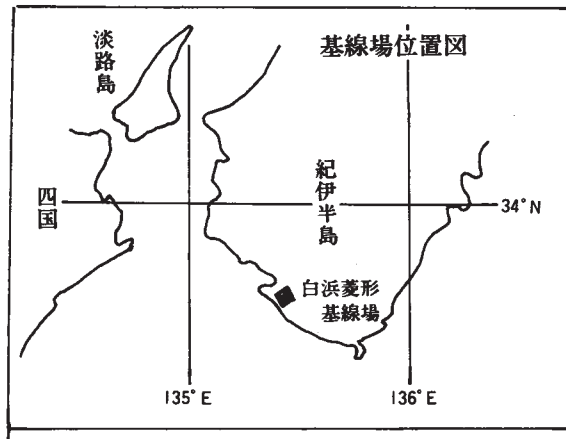
参 考 文 献

- 1) 国土地理院, 四国地方の上下変動, 連絡会会報, 8, 1972, 86 - 88
- 2) 国土地理院, 近畿地方の上下変動, 連絡会会報, 9, 1973, 104 - 106

第1表 白浜菱形基線測量結果

Table 1 Results of resurvey in Shirahama rhombus base lines.

測定器機	G 6	G 6 A		G 8	
測定年 区 間	I 1969. 8	II 1970. 7	II - I	III 1976. 3	III - II
白 浜 - 岩 崎	5 4 7 7 . 9 0 8 ^m	. 9 1 2 ^m	+ 4 ^{mm}	. 9 2 9 ^m	+ 1 7 ^{mm}
" - 近塔山	6 1 8 4 . 2 4 0	. 2 4 6	+ 6	. 2 7 0	+ 2 4
" - 富 田	5 0 5 2 . 6 2 1	. 6 3 6	+ 1 5	. 6 4 6	+ 1 0
岩 崎 - 近塔山	4 2 7 9 . 6 1 7	. 6 1 2	- 5	. 6 2 7	+ 1 5
" - 富 田	6 7 0 2 . 6 0 8	. 6 1 7	+ 9	. 6 3 3	+ 1 6
富 田 - 近塔山	3 6 7 3 . 1 0 5	. 1 1 5	+ 1 0	. 1 2 7	+ 1 2



第1図 白浜菱形基線の距離変化および水平歪
Fig. 1 Change of base lines in Shirahama rhombus.